



樹 姉 ば よ う

No.146
2016.12

慈 悲 喜 捨

各月の末日を、晦日（みそか）と言うので、一年の締めくくりの日である十二月三十一日は大晦日（おおみそか）と言います。新年の神様である「年神様（としがみさま）」が、元旦に各家庭へ一年の幸福をもたらすために訪れるので、大晦日は寝ないで年神様を待つ日と言われています。

年神様は初日の出とともにやってくるという説があり、大晦日の夜に寝ないで待つことを「年籠り（としごもり）」や「歳守る（としまもる）」と言うそうです。うっかり寝てしまうと、「シワや白髪が増える」という言い伝えがあります。これは、年齢が上がると夜更かしができなくなることをさしているのでしょうか。どうしても眠くなったら、「寝る」ではなく「稲積む（いねつむ）」と言うと魔力から逃れることができるということです。また、一日の境が日没であった頃は、大晦日の日暮れとともに新年になったということです。

その年の干支にあたる男性を「年男」と呼びますが、もともとはお正月の行事を取り仕切る人のことであったそうです。昔は家長が「年男」を務め、暮れの大掃除、お正月の飾りつけ、年神様への供え

物、おせち料理を作るなど、お正月の用事全般を取り仕切っていました。家長は、「年男」として忙しかったのですが、次第に長男などが務めるようになり、今では、女性が中心となっている家庭も多いのではないのでしょうか。

一年の締めくくりには、「年越し蕎麦（そば）」を食べますが、それは、月末に蕎麦を食べる「晦日蕎麦（みそかそば）」という江戸時代の風習が大晦日だけに残ったもので、蕎麦のように細く長く、長寿であるようにという願いが込められているということです。また、寿命蕎麦や運氣蕎麦、福蕎麦、縁切り蕎麦などもあるということです。

大晦日の夜、神社では境内で大祓（おおはらい）を行って汚れを清め、寺院では除夜の鐘を一〇八つきます。除夜の鐘は、人間にある怒りや嫉妬（しつと）など一〇八の煩惱を鐘の音で絶つためです。一〇七回は旧年の内に、残りの一回は新年につくとされています。

今日まで伝承されている催事には、深い意味と純粋な遊び心が込められているように思います。今月で一年が終わります。心身を整えて、良い年をお迎えください。

修学旅行と

知恩院研修

明照学園理事長
野口 秀樹



師走、一年の終わりの月に突入しました。気がつくと時間が、月日が驚くスピードで過ぎていくようです。

生徒達はもちろん、誰にとっても年頭に描いた本年の目標の達成度を検証する時期になったのです。遅れをとっている方、まだ間に合いますから、猛ダッシュ、私も猛ダッシュであります。

十一月二十八日から十二月二日まで、高校二年生は修学旅行であります。行き先は京都、奈良、大阪の三都巡りです。宿泊は京都で、そこをベースにして移動致します。参加生徒は四百五十人を超えるので使用するバスの台数は十二台、宿泊施設は二箇所でお世話になります。京都はこの時期、秋の紅葉のトッ

プシーズンですのでバス十二台連なつて一斉に目的地に向かうことになり、ますと、一号車と十二号車の時間差が大きくなつてしまふ。ですから男子部、女子部、一貫校の三班で行動しております。本校の修学旅行の特徴は浄土宗総本山知恩院にて研修を行うことであります。これは昭和四十六年（一九七一年）から始められております。それ以前は単なる見学地として法話（偉い和尚様からお話）を頂くだけでしたが、この年に和順会館という宿泊施設が完成したので、それから知恩院煉成宿泊と銘打って、泊まりがけの研修を始めました。

もうひとりの自分に出会うチャンス、お陰様に気付き「チャンス」、そんな願いのもとでこの研修を実施しております。ちょっと厳しすぎますか。生徒には不得意なところばかりであります。これは生徒達にとつては、本校を卒業するためには絶対に超えなければならぬ高い壁でありました。（学校によつては百km強歩とありますね）知恩院煉成宿泊を経験した上級生が後輩達に色々な情報を楽しみながら流すのです。「和尚さんの対応が厳しい、長時間の正座で足が痛い、本堂の中が寒すぎる、食事が粗末で少量なので夜中にお腹がすく。」などと脅かすのです。

すると不思議ですね、生徒達は知恩院は「厳しい、大変だ、そしてこれから逃げ出すことはできない」「こんな心構えが事前に出来上がり知恩院に臨むのです。この影響がどんなことを起こすかと言うと、普段の学校生活では見られないほど、しっかりと生活行動がとれ、見事に煉成宿泊を成し遂げてしまふのです。（彼らの中に確かにできる要素があるからもちろんできるのです。潜在能力：イヤダ、ヤダと思つていただけ、平気でできてしまった。これはもう一人の自分との出会いであります）すると指導して下さる知恩院の和尚様達から「樹徳の生徒達は見事である」と絶賛を頂くことになり、またこれが知恩院での樹徳高校への定評になる。すると、本校引率の担任団もこの嬉しき伝統を崩してはいけなさと事前指導に力が入るので、

それでは現在はどうかと申しますと、七年前に宿泊施設が取り壊しになりました。それから煉成宿泊は行っておりません。夕方五時に入つて、礼拝三十礼を行い、法話を聞いて終了、二時間ほどの研修。昔に比べると実に簡単で、残念であります。

合掌



今月の法語

ふり向けば
ご恩を受けし
人ばかり
寺内大吉

「歴史を学ぶ？」

歴史の勉強は好きか？
はたまた、お嫌いかな？

「暗記は得意！」
「歴史の流れを読み取るのが面白い。」

「興味のあるところ限定だけれども、突き詰めるのは楽しい。」

肯定派とは逆に、
「覚えることが多すぎる。」
「つながりがわからず、興味を持てない。」

これも無理もない。
地歴科の先生方には怒られるかもしれないが、学習としてではなく、趣味、興味としての歴史と考えたらどうだろうか。国語教師としての視点で恐縮だが、古典の学習において、歴史的な知識がきわめて有用であることは言うまでもない。様々な古典の作品を読み、理解する上で、その時代の慣習、風俗などの知識を持つておくことは、非常に有利である。時代背景との

関連で、知識はさらに深まる。

古典を学習していると、当時の生活、人々の考えが見えてくる。実は、そこが面白い。『万葉集』『古今和歌集』に見られる多数の和歌、恋の歌もたくさんある。そこに詠まれた心情は、現代人のわれわれと、意外なほど変わらないものが多い。

「二夫多妻」「通い婚」など、時代、制度は現代と随分異なっている。他の女性に気持ち移ってしまった男性への嫉妬、恨み言など、現代人と何ら変わらない。役目で遠くへ出かける夫を気づかう妻の心情、遠くから我が子の無事を祈る親の気持ちなど、千数百年も前と、物質文明も極まったとさえ思える現代との、あまりの違いの無さに、驚きと、何とも言えない興味が沸いてくる。

逆のケースもある。随筆として『枕草子』『徒然草』とともに有名な『方丈記』

では、作者「鴨長明」が、「これでもか！」とばかりに投げやりな人生観を披露している。いわゆる「仏教的無常観」の限度を明らかに超え、「何を頑張ったって無駄だよ」とでも言わんばかりである。これには、立て続けに起こった天変地異や、都を大混乱に陥れた戦が大きく関わっているわけだ、つまりは、長明の意識には、「時代背景」が大きく作用している、と言えるわけである。兼好法師も「世は定め無きこそいみじけれ。」と言っているが、言葉は同じでも、その内実は、随分と趣を異にする。間もなく年の瀬を迎える。クリスマス、正月とイベントが続くが、これらの行事は、昔はどのように祝われていたのだろうか？ どううせなら、その由来や、昔の人たちの気持ちを理解したうえで、イベントとして楽しみたい。また、そんなことを考える時間と気持ちのゆとりを、ぜひ持ちたいものだ、しみじみと思うこの暮れである。

【編集子】

マイナスの自己暗示

金を使えば減り、品物は古くなると傷む。人間も年老いると体力が衰える。これは世界の原則である。ところが、世の中には使えば使うほど、増えて磨きのかかる世界がある。それが心の世界である。

例えば、勉強を人に教えて失うものは何もない。それどころか自分の知識が整理され、より確実なものになる。親切もこれと同じで、相手に喜ばれれば自分も嬉しくなり豊かな気持ちになれる。

心の持ち方一つで大きく変わる。人を憎めば心が荒

れ果てることは誰もが経験済みだろうが、「私はだめだ」「あの人は嫌い」などという思いこみも怖い。こういうマイナスの心は、感じ方や考え方に「マイナスの自己暗示」を与える。「だめなのだから、嫌いなものだから仕方がない」と言う人は、自分を限定し、窮屈にするだけだ。マイナスの自己暗示は人の成長を阻み、人を不幸にする。「努めるは好むにしかず好むは楽しむにしかず」と言う。親や教師たちは、子どもが持っているマイナスの自己暗示を打ち消すように努めることが大切である。

(カウンセラー室)



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」 12月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 1, 15日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 12日(月)
- (3) 販売実習(3, 17, 24日の各土曜日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③ 東北復興支援商品(海産物等)

月影杯（柔道・剣道・卓球）

結果報告

平成二十八年十一月三日（木）～十三日（日）にかけて本校が主催する月影杯争奪中学生招待試合が執り行われました。
輝かしい成績を残した選手達をご紹介します。

□柔道

【男子】

優勝 足利協和中
準優勝 足利第一中
第三位 草津中
第三位 下野国分寺中

【女子】

○52 kg以下級
優勝 佐藤 はな
準優勝 桐生清流中
第三位 長岡 采枝
第三位 草津中

第三位 石川 星

第三位 秋本 紗英

○52 kg級超級

優勝 馬場 琴珠

準優勝 延命 未姫

第三位 清水 蒼葉

第三位 相澤 愛佳

（足利第一中）

□剣道

【男子】

優勝 伊勢崎第四中
準優勝 佐野南中
第三位 前橋大胡中
第三位 足利北中

【女子】

優勝 伊勢崎赤堀中
準優勝 足利第二中
第三位 前橋大胡中
第三位 榛東中

□卓球

【男子】

優勝 みどり大間々中
準優勝 渋川中
第三位 伊勢崎宮郷中
第三位 前橋桂萱中
奨励賞 新井 響

【女子】

優勝 伊勢崎宮郷中
準優勝 伊勢崎境西中
第三位 栃木都賀中
第三位 足利第二中
奨励賞 五十嵐 美弥

（伊勢崎宮郷中）
（敬称略）

平成28年11月5日（土）・6日（日）に行われた「月影祭」。
総来場者数3,734名のお客様をお迎えし、大盛況となりました。
本校の「いまここ」が感じられたでしょうか。
今回は当日の様子を写真にてご報告します。

月影祭 PHOTO GALLERY



田楽座・相楽さん
（本校OG）の演舞



月影祭パレード1



月影祭パレード2



茶道部によるお点前



入場門



賑わう慈善バザー会場



子ども達に大人気の着ぐるみ達



模範唱（5年）



模範唱（ss組）



十月二十日（木）、力誉記念館講堂において合唱コンクールが行われました。女子部伝統のこの行事、生徒たちは、朝・夕・休み時間を使い、数ヶ月にわたって練習に励みます。学び舎全体に歌声が響く様子は、樹徳の風物詩となっています。ステージから届く課題曲と

自由曲の美しいハーモニーの中には、それぞれのクラスが指揮・伴奏・歌唱にどう取り組んできたか、その努力の過程が個性となって表現されます。今年もコンクールは熱戦となりました。結果は次の通りです。

- 優勝 一貫コース五年
- 準優勝 ss組
- 特別賞 総合コース 二年j組
進学コース 三年k組
一貫コース 四年
- 個人賞 長岡 明咲
(三年ss組)

一年生の秋の恒例行事である、大川美術館と織物参考館「紫」の見学が始まりました。二・三クラスずつが合同で見学します。

桐生市出身の実業家故大川栄二氏の収集した近代洋画を中心に展示する大川美術館は、日本の洋画史に異彩を放った松本峻介と野田英夫のコレクションが日本最大で、ピカソやミロの逸

大川美術館 織物参考館 桐生の文化と 産業を学ぶ



平成29年度新入生 男子新制服



創立100周年
メモリアルジャケット
採用の女子に続いて
男子制服もリニューアル

清楚な中にも凛としたものを感じさせる新制服は、グローバル社会での活躍を目指し、未来に向かって勉学に励む若人を象徴するようなデザインです。



品なども見るができます。

学芸員さんのお話を伺った後、生徒たちは思い思いに作品を鑑賞。普段触れることのない絵画や彫刻に真剣に見入っていました。

織物参考館「紫（ゆかり）」は、桐生の織物産業の歴史を、織機の歴史を通して学べる施設です。生徒は古代から現代に至るまでの織機の進化に目を見張り、織物体験に苦心する中で、昔の女工さんたちの仕事の大変さを実感していました。



のこぎり屋根の「紫」

一貫校

中学校

だより

◆人生を

切り拓くのは自分

今回は、みなさんが人生を考える上で参考となる思想を紹介します。実存主義と呼ばれる哲学（思想）です。四年生になると、社会科の「倫理」の授業で学びます。「倫理」とは、私たちの生き方を先哲の思想から学び、思索を深めていく教科です。

実存主義は、世の中や人生をどう見るかではなく、人生をどう生きるかの問題こそ第一とする思想です。現実の社会と自分との関係においては、私たち自身のこと、目を向け、人間の内面の自覚により、自己の主体性を確立しようとする思想です。皆が同じというような周囲の状況に迎合・同化することなく、自己のあり方を真摯に問い続けていく考え方です。人間の本来性を提起したことにもよる、人間尊重主義とも言われます。

いますが、皆さんの日々の生活と無関係ではないのです。皆さんは、学校や地域のコミュニケーションの中で生活しています。人により差違はあっても、現実の生活の場では様々な問題に遭遇し、壁に突き当たりそうです。自分らしく生きようとすればする程、それがいかに難しいものであるかを実感しているはずですが、何も考えたくない、との状況に陥ることだってあります。そのような時、実存主義は、決のヒントを与えてくれます。この哲学は、人間である故に抱える迷いや悩みに向き合い、それらをしっかりと受け止め、現実の自己の在り方を考えることにより、そこから抜け出していきける生き方を教えてくれます。

私たちの悩みや迷いは、人間らしさから生じるものであり、それは、常に何かを求めようとする誠実な精神が胎動している証そのものであり、人間だけが持つものです。

現代社会に生きる私たち人間に必要な資質は、物事

を自分で考え、判断し、行動できることです。困難な障碍物を前にしても、極論すれば私は、私である以外にはない、という気概を持ち、意志的な生き方を選ぶかどうかなのです。そのためにも、今、この瞬間を自分らしく生きる姿勢で一歩前に出ていくことです。この世に生を受けた時以来、私たちは、いつでも自分と向き合い、何が良いことなのか、日々選択しながら生きてきたのです。

実存主義とは、分かりやすく言うと、人生は自分で切り拓いていこうとする生き方なのです。皆さんが自律的、主体的に生きようとする生き方をどれだけしているのか。そのような対処の有無こそが、人生の扉を開く鍵である、と教えてくれます。

（顧問 斎藤哲也）

◆校内合唱コンクール

十月二十一日（金）に桐生市中央公民館ホールにおいて校内合唱コンクールが行われました。

課題曲は今年度のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲でもある「結」。自由曲は各クラスの色を表すような曲が選曲され、個性

～結果～

金賞 3年2組
銀賞 2年1組
銅賞 3年1組
最優秀指揮者賞 3年1組 田村 統和
最優秀伴奏者賞 2年2組 尾花 理子

あふれる仕上がりとなりました。何週間にもわたる日々の練習の成果を保護者の方々にも見て頂くことができました。



また、金賞を取った三年二組の自由曲「ヒスイ」は十一月十一日、シルクホールで行われた桐生市中学校音楽学習発表会の折に、三年生全体の合唱曲とともに披露されました。

◆祝 関東大会出場 駅伝部 県大会 3位

十一月十二日、前橋総合運動公園内で行われた県駅伝競走大会で3位となり、十二月四日、山梨県で行われる関東大会への出場権を得ました。

◆樹徳中学校第2期入学試験 平成29年1月14日（土）

出願期間 平成29年1月5日～1月10日

◆樹徳中学校第3期入学試験 平成29年2月4日（土）

出願期間 平成29年1月31日～2月2日

お問い合わせ TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

「なかよし発表会」 まで二週間!

園庭や山の木々の葉が散り、寒さも一段と厳しくなってきました。今年も残り一ヶ月を切りましたが、子どもたちは十二月十七日(土)に開催される「なかよし発表会」に向け、練習に大忙しの毎日を送っています。それでも休み時間になると、落ち葉と戯れたり、寒さに負けない元気な声が、園庭から響いています。

『発表会に向けて』

例年一月に実施していた発表会ですが、今年は十二月に実施することになりました。発表会は知育を中心に、主に屋内で発表される静的なもので、みんなで役をもって、そのものになりきって表現することや、仲間と一緒に遊ぶ楽しさを味わったり、体を動かして集団遊びをすることなどが目

標となります。

子どもたちが楽しく取り組めるように、種目や練習等工夫しながら取り組んでおります。十二月を迎えて、発表会まで二週間となり、子どもたちは練習に一所懸命です。

年長さんは入園してから今までの集大成として、様々な演目への練習に一所懸命取り組んでいます。完璧を求めるのではなく、いきって大きな声で発表することができるよう、自信をつけられたらと思っています。



園庭の紅葉と落ち葉遊び

います。

年中さんは発表会に向けて歌・合奏・劇等、一つひとつの練習を楽しみながら取り組んでいます。年少さんから一つ大きくなった姿を見てもらおうと、クラスで力を合わせて頑張っています。

年少さんは初めての発表会。覚えることがたくさんあって大変ですが、元氣いっぱい頑張っています。当日が今から楽しみです。

―主な内容―

【年長】・オペレッタ「くるみ割り人形」・歌「ゆきってながつすぎだつて」・合奏「ドキドキドン!」・年生「ピアノカ」・元氣になれそう」・学校紹介「思い出のアルバム」

【年中】・劇「おむすびころりん」・歌「せかいじゅうのこどもたちが」・合奏「ジングルベル」・ピアノ「ぶんぶんぶん」

【年少】・劇「りすさんの誕生日」・合奏「サンタはいまごろ」・歌「おもちゃのチャチャチャ」

【合同合奏】・「いつも何度でも」・「よろこびの歌」
当日は多くの皆様のご来

場をお待ちしています。

『お点前で大活躍!』

十一月二十日(日)に「学校茶道親睦茶会」が相生町「大善寺」において開催されました。月一回の練習に取り組んでいる年長さんが、お兄さんお姉さんと一緒に、お客様(学校茶道関係者や保護者等)皆様にお点前を披露しました。園で取り組んでいる練習の成果を発揮し、大変よくできたとお褒めの言葉をたくさんいただきました。園児にとっては、素晴らしい機会に恵まれ、成長した姿を見ていただく事ができました。三月の発表会に向け、貴重な体験をすることができ、これからの園生活において、一層の活躍が期待されています。



学校茶道親睦茶会

れます。

『二年を振り返り』

今日を限り今日の命でと思ひて今日の勤をばせよ
早いもので今年も残すところ一ヶ月。一年間を振り返り、一日を大切にしていたか自省する中で、残りの一ヶ月を全力で努めたいと思います。

園長 瀬谷 茂

『入園願書受付』

○幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。自然の中で、未来を生きる力の基礎を育みます。

○受付時間

平日八時三十分～十八時
入園願書は三月末日まで受け付けております。

三歳児・満三歳(二歳児含む)児の入園・見学をお待ちしています。

○十二月八日(木)

十時三十分より入園面接を行います。(制服・遊び着・帽子・カバン等の注文)

○申し込みお問い合わせは樹徳幼稚園まで直接ご来園くださるか、お電話にてお問い合わせください。

※土、日のご来園は事前にご連絡ください。

桐生市広沢町3-4475
0277-5315571

ホームページもご覧ください!

<http://www.jutoku.ed.jp/Kinder>

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	木	暖房使用開始 3年SSKs組三者面談(～2日)	頭髮服装指導	
2	金	献血① 2年生修学旅行帰郷	5年生修学旅行帰郷	幼交連交通安全教室・打合せ
3	土	3年駿台センタープレテスト(～4日) GTEC for STUDENTS(1,2年進学クラス)		
4	日			
5	月	LHR(人権教育) 授業料納入日 珠算競技(～7日)	中学校期末試験(～7日) 高校3時限授業・三者面談(～8日)	保育料納入日 リズム(全)
6	火	献血② 県校長会		成道会・数珠くり
7	水	マイトリー基金抛金日		
8	木	成道会 漢字練習開始		入園面接(10:30～)
9	金	後援会役員会③	保護者による生き方教室	
10	土			
11	日			
12	月	朝礼		リズム(全)
13	火			読み聞かせ
14	水	法人役員会②		法人役員会
15	木	担任宛成績提出	交通安全ミニマナーアップ運動	
16	金	校内マラソン大会	校内マラソン大会	なかよし発表会予行演習
17	土			なかよし発表会
18	日			
19	月	LHR 推薦・学奨入試願書受付(～20日) 教務宛成績提出		なかよし発表会代休日・預かり保育
20	火	2学期出欠締切 女子制服アフターサービス		クリスマス会
21	水	学年別一斉指導 漢字テスト④ 成績会議	進路講演会(2年生)・高校成績会議	
22	木	終業式 大掃除 奨学生審査会②	終業式・大掃除 中高一貫学力向上対策会議	終業式 餅つき大会
23	金	天皇誕生日		
24	土			
25	日			冬休み(～1月9日)
26	月	入試準備事務① 冬期特別課外授業開始	WSL・実力養成特別補習(～28日)	預かり保育① 研究委員研修会
27	火	入試準備事務②		預かり保育②
28	水	入試準備事務③		預かり保育③ 仕事納め
29	木	職員休暇	職員休暇	年度末特別休暇(～31日)
30	金	職員休暇	職員休暇	
31	土	職員休暇	職員休暇	

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく